

令和4年度日野町少年センター活動報告

○街頭補導

- (1) 青少年の非行を未然に防ぎ、早期に発見・指導するために、少年補導(委)員と日野警部交番、少年センター職員が合同で青色パトロール車による巡回指導を47回延べ192人で実施した。
また、小学校下校時の通学路で「愛の声かけとマナーの呼びかけ」のパトロールを少年センター職員が延べ46回実施した。
氏郷まつり～夏の陣～終了後に3人ずつ2班体制でパトロールを行った。
- (2) 思いやりの心を醸成し、豊かな人間関係を育むことを目的に、保護司会、更生保護女性会、主任児童委員、民生委員・児童委員、少年補導(委)員会が合同で、中学生への「朝のあいさつ運動」を中学校校門前で毎週火曜日に30回延べ104人で実施した。また少年補導(委)員の協力を得て各小学校であいさつ運動の普及に努めた。
- (3) 夏、秋に開催された氏郷まつりで少年補導(委)員会と合同でパトロールを実施した。

○環境浄化活動

- (1) 少年の健全育成を阻害すると認められる有害図書等を取り扱う書店、コンビニ店舗等に対して、毎月2回の立入調査を実施した。
- (2) 刃物取扱店および量販店(8店舗)について、条例確認の有無や年齢確認の状況などについての調査を行った。
- (3) 小学校6年生を対象とした薬物乱用防止教室を東近江警察署、日野ライオンズクラブの協力を得て、町内の小学校で実施した。また日野中学校、日野高校でも実施した。

○広報啓発活動

- (1) 非行防止の取り組みや情報、少年補導(委)員の活動状況等の記事を掲載した「少年センターだより」を5月15日、7月15日、12月1日、3月15日に発行し、自治会を通じて全戸配布した。
- (2) 小学生に向けてのメッセージ掲載した「青パトだより」を、少年(補)導委員と合同で年3回発行し、小学校で掲示を依頼した。また新中学1年生には、押し花しおりとメッセージを全員に配付した。
- (3) 少年補導(委)員会が作成したペープサートを活用して、桜谷こども園、南比都佐幼稚園で防犯教室を実施した。
- (4) 秋に開催された「氏郷まつり“楽市楽座2022”」において少年補導(委)員と合同で、薬物の乱用防止や少年の非行防止の啓発を実施した。
また、各公民館やわたむきホール虹で開催された文化祭や、町立図書館においても展示啓発を実施した。
- (5) 7月の青少年の非行・被害防止滋賀県強調月間にフレンドマート日野店で掲示による啓発を実施した。また11月の滋賀県子ども・若者育成支援強調月間では、少年補導(委)員会、東近江警察署、日野町青少年育成町民会議と合同で街頭啓発を行った。

- (6) ホームページを10月1日からリニューアルし、スマホなどから見やすいページにするとともにメールでの相談もできるように改善した。

○相談活動

総相談件数は来所、電話、メール相談を含め延べ69回(36人)であった。

- (1) 中学生の相談については、保護者同伴で来所し、勉強についていけず学校に行きにくくなった、精神的に不安定になり不登校になったなどの相談があった。
- (2) 高校生の来所相談は延べ19回(8人)で最も多く、主な相談内容は、高校に入学したが勉強についていけない、通信制高校でのレポートの提出方法がわからないなど、学業に対する相談が多かった。
また人間関係に行き詰まり、留年をして頑張っていた生徒もいたが結果的に退学する生徒もいた。
- (3) 有職少年では、就職したがその後体調が悪くなり、仕事をずっと休んでいるが今後どうしていくべきかとの相談があった。
- (4) 無職少年では、学校を中退しアルバイトを転々としているがそれも長続きせず、短期のアルバイトはないか等の相談があった。
- (5) 保護者や関係機関からは、夫婦間の不和から離婚も考えているが、子どもに影響するのではないかという相談や、SSWから小学生のサポートスクールとの利用についての相談などもあった。

○適応指導教室の運営

- (1) 日野町教育委員会が設置するサポートスクール「ステップ」の運営を行い、不登校児童・生徒の集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の補充等で、学校復帰を支援した。
登録来所者は9人で、毎日の来所や定まった日時に来所するのが困難な生徒もおり、子どもたちにタイミングに合わせながら粘り強く指導を行った。
また保護者との懇談や学校関係者との連携にも努めた。

○子どもの学習支援事業

- (1) 家庭での学習が困難であったり、学習習慣が十分に身につけていなかったりする中学生等の学習意欲の向上や健全な成長を促すため、子どもの学習支援事業「IPP0(いっぽ)」を、教育部局と福祉部局の協力をいただき一体となって実施した。
実施にあたっては町内に在住する大学生等ボランティア(30人)の協力を得て、78回実施し、延べ433人の中学生の参加があった。毎回、なごやかな雰囲気の中で、どの子どもたちもサポーターと一緒にがんばって学習に取り組み、最終的に全員高校へ進学した。
また、放課後に気楽に立ち寄り学習できる場として、立ち寄り学習処「ちょき」を、60回開設し、基礎学力の向上を支援した。

○高等学校等訪問

(1) 中学校卒業後の生徒の状況を把握するため、福祉部局と合同で日野高校をはじめ、東近江市、甲賀市、草津市、大津市、近江八幡市、彦根市などの高等学校等を訪問し、日野町内より通学している生徒の在籍状況等を聴き取った。

○関係機関との連携

(1) 滋賀県青少年補導センター連絡協議会、滋賀県青少年育成県民会議、日野町青少年育成町民会議、日野町防犯自治会をはじめとして、関係機関主催の会議、研修会等の行事に参加した。

令和4年度少年センター活動状況

(令和4年4月～令和5年3月)

○街頭補導・パトロール

補導委員街頭補導	47回	延べ192人
小学校区パトロール	46回	延べ73人
朝のあいさつ運動	中学校 30回	延べ104人
	小学校 随時	

○啓発活動

少年センターだより(新聞折り込み)	4回
※自治会経由で全戸配布	

フレンドマートで青少年非行・被害防止強調月間啓発
氏郷まつり“楽市・楽座”2022で薬物乱用防止啓発
町内文化祭、わたむきホール虹、図書館で啓発
子ども・若者育成支援強調月間で街頭啓発
青パトだよりによる小学生への啓発
新中学1年生押し花しおり贈呈

ホームページ

10月1日からホームページリニューアル

○相談業務 69件

- ・来所相談
中学生 2件(2人) 高校生19件(8人) 無職少年7件(4人)
有職少年13件(6人) その他学生1件(1人)
保護者・関係機関15件(7人)
- ・電話相談
保護者・関係機関 7件(4人) 高校生1件(1人)
- ・メール相談
高校生4件(3人)

○適応指導教室ステップ

来所回数	延べ 374回 (208日)
小学生・中学生	延べ 374人 (9人)
保護者懇談会	9回
学校連絡会議	17回

○子どもの学習支援事業 IPP0

開催回数	78回
中学生参加人数	延べ433人 (10人)
大学生等ボランティア	延べ411人 (30人)
高校在籍者、高校を目指す者	延べ 18人 (6人)

○放課後立ち寄り学習処「ちょき」	延べ257人 (60回)
------------------	--------------